

好評発売中

海と ヒトの 関係学

シリーズ
『海とヒトの関係学』の
刊行を開始いたしました。

第二卷
『日本人が魚を食べ続けるために』、
第三卷
『海の生物多様性を守るために』

同時刊行。

お近くの書店でお買い求めください。



いま人類は、海洋の生態系や環境に過去をはるかに凌駕するインパクトを与えています。
そして、それは同時に国家間・国内紛争をも呼び起こす現場となっています。

本シリーズは、編著者に、総合地球環境学研究所名誉教授国立民族学博物館名誉教授・秋道智彌先生、笹川平和財団海洋政策研究所所長・角南篤先生を迎え、これらの海洋をめぐる起こっているさまざまな問題に対し、研究者はもとより行政、NPO、魚介類に関する業界関係者から、海をキーワードに活動する市井の人たちに至るまで、多様な視座と論により考察し、その本質と課題を浮き彫りにしていきます。

ヒト、ことに日本人は海との関係なしには立ち行きません、本書をお読みいただき、前向きに課題に挑戦する人たちの声を聞いていただくよう願っています。

切り取り線 ✂

お近くの書店か、弊社に直接お申し込みください。

なお、弊社宛てのお申し込みの場合は、郵便振替用紙を入れて発送いたしますので、本が到着した後、お振替ください。 **FAX:06-6310-7057**

申し込み書	(お取り扱い書店様番線)	(書名)	第一巻 日本人が魚を食べ続けるために <input type="text"/> 冊	■編著 秋道智彌・角南篤 ■本体価格1,600円+税 ■ISBN ①巻:978-4-908443-37-4 ②巻:978-4-908443-38-1
		第二巻 海の生物多様性を守るために <input type="text"/> 冊		
		お名前	お電話番号	
	〒	都道府県	市区郡	
	ご住所			
注文日	年	月	日	発売/株式会社 西日本出版社 FAX: 06-6310-7057 TEL: 06-6338-3078 大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 ※この申し込み書に書かれた個人情報は、本書をお届けすることのみに使用します。

日本人が魚を食べ続けるために



編著 秋道智彌 (総合地球環境学研究所名誉教授 国立民族学博物館名誉教授)、角南篤 (笹川平和財団海洋政策研究所所長)
 ■本体価格1,600円+税 ■判型:A5判264P(132Pカラー) ■ISBN978-4-908443-37-4

はじめに 転換期をむかえる魚食

第一章 日本の魚食をたどる

- 1、世界最古の釣り針が語る旧石器人の暮らし/コラム:受け継がれる塩づくりの歴史と文化/
- 2、海女さんは、すごい!/3、水産資源の衰退は、和食の衰退?/コラム:日本人に愛された鯉節

第二章 私たちはいつまで魚が食べられるか

- 4、これからも魚を食べつづけるためには/コラム:「ナマコ戦争」を回避せよ/5、持続可能な漁業の普及に向けて/6、サクラエビ漁業を守れ/コラム:浜からの眼一宮古湾のニシンとカキ/7、マグロ資源の管理・保全における完全養殖の役割/コラム:鳥取県石見海域におけるヒラメの養殖漁業/海のない町でトラフグを育てる/8、シーフードのエコラベルMSC認証とASC認証/9、サメ資源保護と魚食文化/コラム:「持続的」サメ漁業認証にむけた気仙沼近海延縄漁業

第三章 魚食大国復権のために

- 10、海とつながる暮らしのなかで一御食国若狭おぼまの食のまちづくり/11、地域が一体となって取り組む水産振興/コラム:「さかな」の魅力を伝える、おさかなマイスターとは!/?12、「本物の力」が子供たちの目を輝かせる一小学校おさかな学習会/コラム:体験!漁村のほんなもん一民泊受け入れの取り組み/13、海を活かしたまちづくりに向けて

おわりに 魚食大国復権のために

著者の皆さん

藤田祐樹(国立科学博物館研究員)/長谷川正巳(日本大学生産工学応用分子化学科上席研究員)/石原義剛(元鳥羽市立海の博物館館長)/嘉山定晃(長井水産(株)取締役)/船木良浩(一般社団法人日本鯉節協会事務局)/高橋正征(東京大学・高知大学名誉教授)/赤嶺淳(一橋大学大学院社会学研究科教授)/石井幸造(MSC(海洋管理協議会)プログラムディレクター)/大森信(東京海洋大学名誉教授)/山根幸伸(岩手県指導漁業士、宮古湾の藻場・干潟を考える会会長)/升間主計(近畿大学水産研究所所長)/安達二郎(浜田市水産振興協会参与)/野口勝明(夢創造代表取締役社長)/大元鈴子(鳥取大学准教授)/鈴木隆史(桃山学院大学兼任講師)/石村学志(岩手大学農学部准教授)/中田典子(小浜市政策専門員(食育)・御食国若狭おぼま食文化館館長)/行平真也(大島商船高等専門学校)/大森良美(日本おさかなマイスター協会事務局長)/川越哲郎((一社)日本水産会魚食普及推進センター)/荒木直子(新松浦漁協女性部部长)/古川恵太((公財)笹川平和財団海洋政策研究所上席研究員)/秋道智彌/角南篤

第二巻 海の生物多様性を守るために

編著 秋道智彌 (総合地球環境学研究所名誉教授 国立民族学博物館名誉教授)、角南篤 (笹川平和財団海洋政策研究所所長)
 ■本体価格1,600円+税 ■判型:A5判224P(112Pカラー) ■ISBN978-4-908443-38-1

はじめに 漂着物と海洋世界一境界の文明史

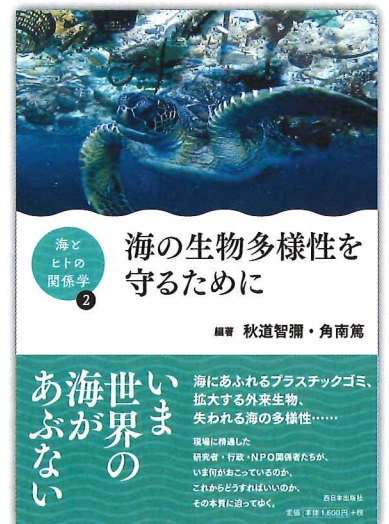
第一章 海のゴミ問題を考える

- 1、海岸漂着物から地球環境を読む/コラム:海洋清掃の仕組みー150キロの海岸を清掃して27年/2、漂着物にとりつかれた人たち/コラム:漂着する陶磁器/3、海域に浮遊するマイクロプラスチック研究最前線/4、深刻化する深海のプラスチック汚染/5、世界で最も美しい湾クラブ/コラム:海洋環境保全に向けた周辺国との協力の推進/6、海洋ゴミ解決に向けた世界の流れ

第二章 生物多様性を守れ

- 7、ホンビノスは水産資源有用種か生態系外来種か?/8、バラスト水が招く生物分布の拡散/9、季節の旅人スルメイカは海洋環境変化の指標種/コラム:可能となったエチゼンクラゲ大発生の早期予報/10、バイオロギングで生態を探る/コラム:水中グライダーー新たな海洋観測ツール/11、日本の海洋保護区の課題とは/コラム:南極ロス海、世界最大の海洋保護区に/12、海洋生物多様性の保全に向けた世界の取組み

おわりに 生物多様性の劣化をくい止めるために



著者の皆さん

鈴木明彦(北海道教育大学教授)/柱本健司((公財)かながわ海岸美化財団)/中西弘樹(長崎大学名誉教授 漂着物学会会長)/野上建紀(長崎大学多文化社会学部教授)/磯辺篤彦(九州大学応用力学研究所教授)/蒲生俊敬(東京大学名誉教授)/高桑幸一(美しい富山湾クラブ理事・事務局長)/馬場典夫(海上保安庁 海洋情報部 海洋情報指導官)/藤井麻衣((公財)笹川平和財団海洋政策研究所研究員)/風呂田利夫(東邦大学名誉教授)/水成剛(日本海難防止協会)/桜井泰憲(北海道大学名誉教授 函館頭足類科学研究所所長)/上真一(広島大学特任教授)/宮崎信之(東京大学名誉教授)/安藤健太郎((国研)海洋研究開発機構 地球環境観察研究開発センターグループリーダー)/八木信行(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)/森下丈二(東京海洋大学教授)/前川美湖・角田智彦((公財)笹川平和財団海洋政策研究所主任研究員)/秋道智彌/角南篤

◎続刊予定/第三巻「海はだれのものか」